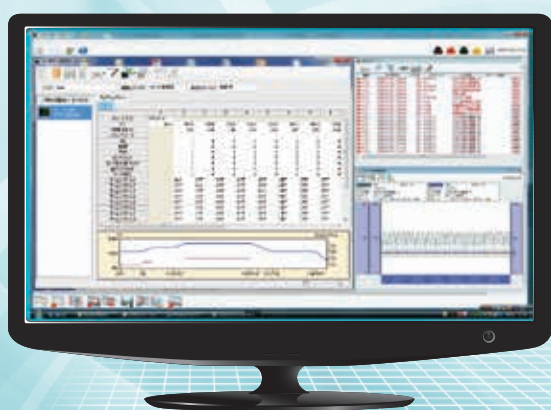


集録・監視パッケージシステム

CISAS/V4 Lite

- 最大500タグのデータ集録・監視
- 記録計、スキャナ、調節計などを混在接続可能
- Ethernet機器にも対応
- Excelシートを利用した帳票出力



ワイド液晶ディスプレイによる
画面レイアウト

マルチディスプレイによる
画面レイアウト



IoTの第一歩は集録・監視でデータの見える化！

CHINO

集録・監視システムを容易に実現!

CISAS/V4 Liteは弊社の記録計、ロガー、調節計をシステムコンポーネントとして、各種装置・設備など最大500タグのデータをパソコンで集録・監視するパッケージシステムです。

長年にわたり蓄積した計測技術とフィールドノウハウ、計測機器メーカーならではの機器利用技術を活かし、豊富な画面・機能を用意しています。

Windows10対応に伴い、今までの集録専用ソフト(トルウィン)と
設定専用ソフト(パラウィン)を統合。

実績のある設定・集録・監視パッケージシステム(CISAS/V4)のコア部分を継承しているので
信頼性も高く、さらに高機能なCISAS/V4へのシステムアップも容易に可能!!

集録データを再生、バックアップ、コピーをする「データ管理」、システムの運転状態や操作履歴を閲覧する「システムログ」、構築情報や運用時の情報をバックアップ、インストール、ロールバックする「メンテナンス」機能を装備しています。

簡単にシステム構築できるよう考慮し、パソコン計装を導入するメリットが充分にできるよう設計されています。エンジニアリングコストの低減、工期短縮、増設・変更が容易などのメリットをもたらします。

ユーティリティ機能

コスト低減

CISAS/V4 Lite



豊富な
オペレーション機能

帳票機能

監視画面に、トレンド、データリスト、アラームリスト、サマリ、メモリー操作、帳票操作を、設定画面に、アラーム設定、制御パラメータ設定を用意。

レポート(任意の指定時刻に取り込まれたデータを出力)、日報、月報を用意。Excelを使用して自由なレイアウトでテンプレートを作成可能。印刷、PDFファイルで帳票を出力します。

CISAS/V4 LiteはIoTのスタートに最適!!



CISAS/V4 システム ステップ 1

《 まずはデータが見えるようにしたい 》

システムアップ

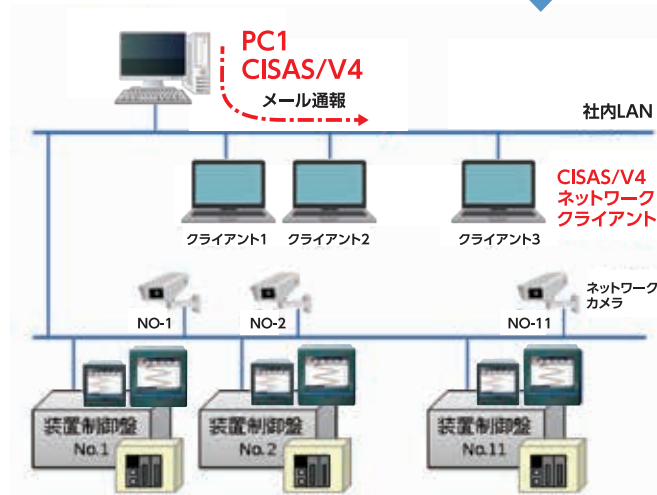
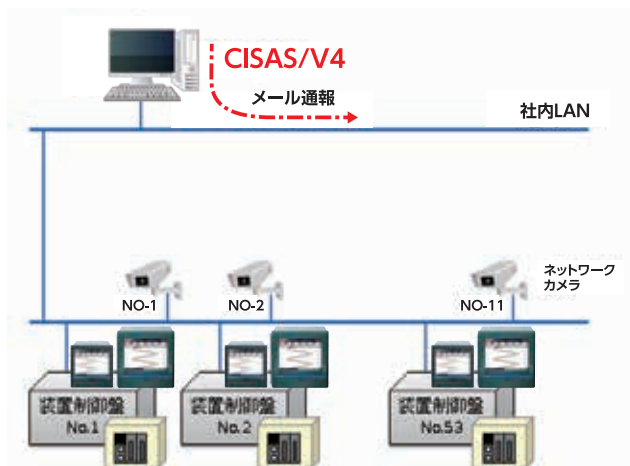
CISAS/V4 Lite
↓
CISAS/V4

CISAS/V4 システム ステップ 2

《 他のデータも見えるようにしたい 》

システムアップ

CISAS/V4
↓
CISAS/V4
CISAS/V4 ネットワーククライアント



CISAS/V4 システム ステップ 3

《 誰でも見えるようにしたい 》

システムアップ

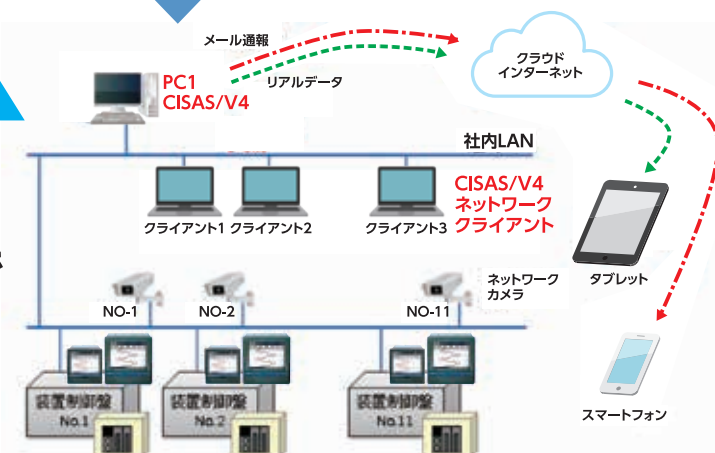
CISAS/V4
CISAS/V4 ネットワーククライアント
↓
CISAS/V4
CISAS/V4 ネットワーククライアント
クラウドサービス

CISAS/V4 システム ステップ 4

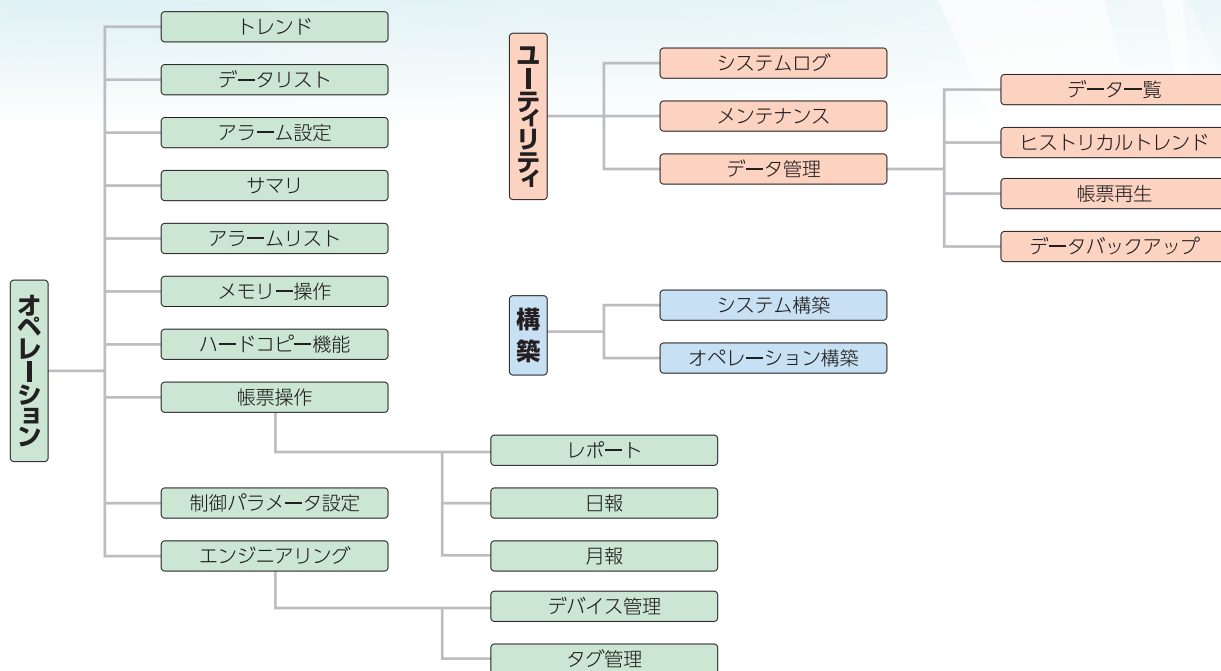
《 どこでも見えるようにしたい 》

CISAS/V4 とコア部分と同じなので
システムアップが容易に可能。

(CISAS/V4 はお客様ご要望の特殊機能にも対応可能)



データ集録・監視に必要な機能を豊富に用意。
データ管理やメンテナンスを行うユーティリティソフトも装備しています。

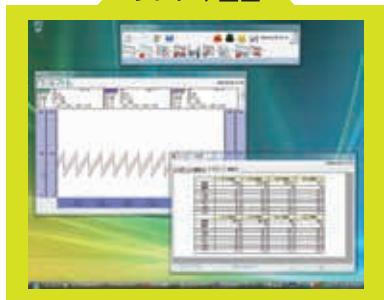


測定されたデータを集録、監視、帳票出力するために、各種のオペレーション画面が装備されています。

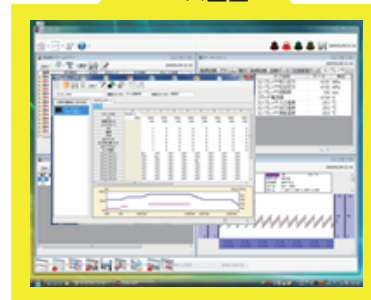
▶ メイン画面

ランチャ画面とベース画面の2タイプを用意。
ランチャ画面は各種オペレーション画面を独立した画面としてデスクトップ上に表示します。
ベース画面はベース画面内に各種オペレーション画面を表示します。
どちらも最大10画面のオペレーション画面を同時に表示することができます。

ランチャ画面

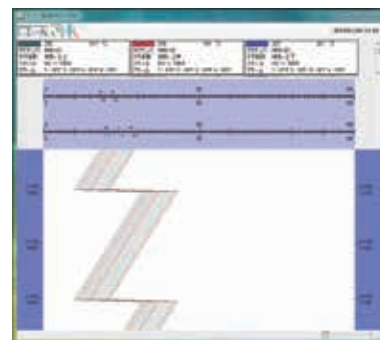
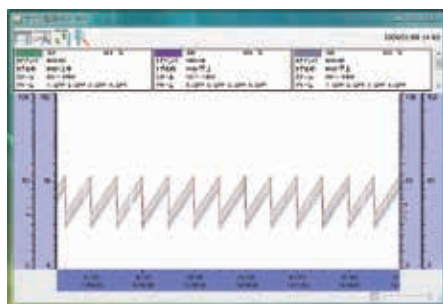


ベース画面



▶ トレンド

トレンドは最大100画面登録でき、1画面に最大50タグのデータをトレンド表示することができます。
トレンドの周期は3種(固定1分及び任意に指定された2種類の周期)の中から画面ごとに選択でき、トレンドのスクロール方向も横方向、縦方向を選択することができます。



▶ アラームリスト

現在発生しているアラームの情報を一覧表示します。
アラームリスト画面はアラーム発生時に自動的に最前面に表示させることができます。



▶ サマリ

アラーム発生、イベントの履歴を表示します。
抽出表示や検索表示、コメント入力を行うことができます。



▶ データリスト

画面上にタグをレイアウトして一覧表示する画面です。画面のレイアウトは固定フォームにデータを割り付けるタイプと、画面の任意のセルに自由にデータをレイアウトするタイプを用意。どちらのタイプも表示画面を拡大表示することができます。



▶ アラーム設定

アラーム判定を行うタグに対してアラームの設定値を転送する画面です。判定方式は機器で判定する方式とコンピュータが判定する方式を用意。任意のタグに対してアラーム判定を行うか否かの設定をすることもできます。



▶ メモリー操作

データをハードディスクなどへ記録する機能です。メモリー形式はバイナリ(BIN)、CSVを用意。
記録されたデータはデータ管理機能で読み込むことができます。記録の条件は、メモリータイミング、メモリー開始条件、メモリー終了状況のそれぞれの条件の組み合わせで指定することができます。

メモリータイミング	インターバル	設定された周期で記録
	データイベント	指定されたデータの変化で記録
メモリー開始条件	メモリースイッチ操作	メモリー機能のスイッチの操作により記録を開始
	時刻指定	指定された時刻に記録を開始
メモリー終了条件	データイベント	指定されたデータの変化で記録を開始
	メモリースイッチ操作	メモリー機能のスイッチの操作により記録を終了
	時刻指定	指定された時刻に記録を終了
	経過時間	指定された時間の経過後に記録を終了
	データイベント	指定されたデータの変化で記録を終了

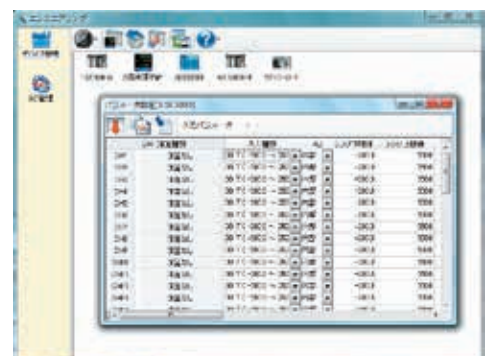
▶ 帳票機能

Excelで作成したレポート、日報、月報フォームテンプレートから、CISASのデータを整理して帳票を作成する機能です。帳票のフォームはExcelで作成するためさまざまなレイアウトが可能です。
帳票は、印刷、PDFファイルで出力することができます。



▶ エンジニアリング

接続されているデバイスの状態やタグ情報の表示、接続デバイスのパラメータの設定変更を行うことができます。



▶ 制御パラメータ設定

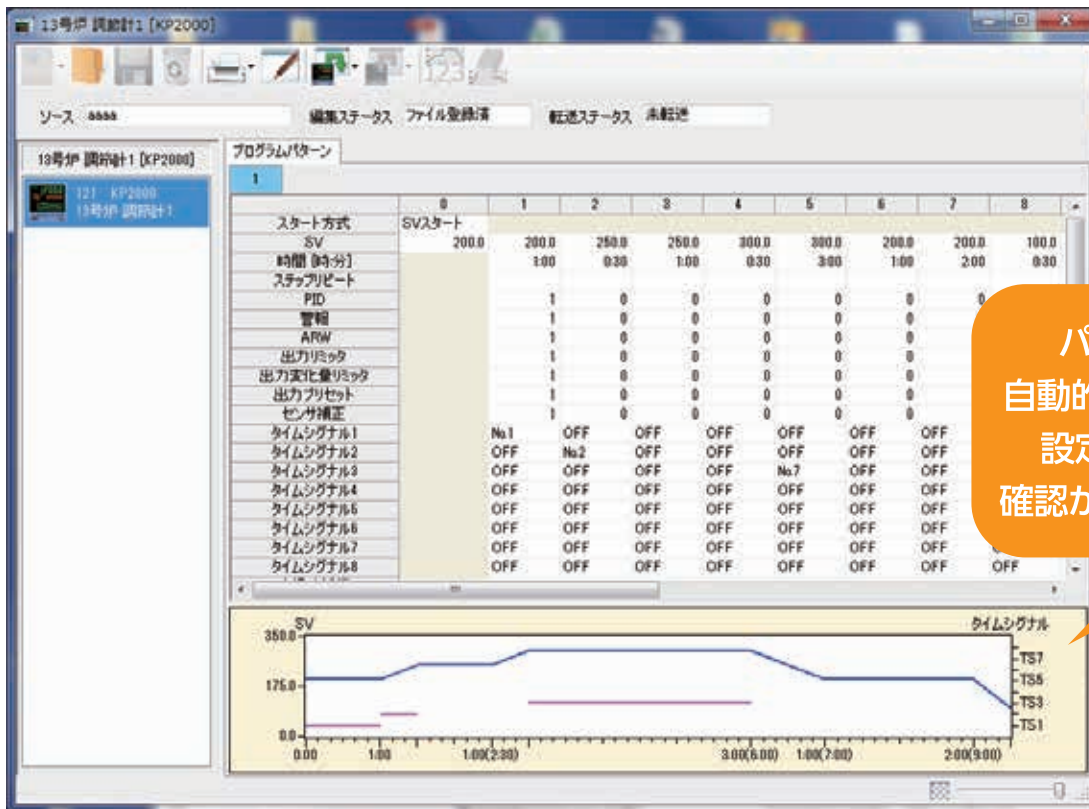
プログラム調節計 (DP-Gシリーズ、KPシリーズ)、デジタル指示調節計 (LTAシリーズ、DBシリーズ) の制御パラメータ設定および管理を行います。複数の調節計をまとめてレシピ管理が可能です。

<プログラム調節計 (DP-Gシリーズ、KPシリーズ)>

プログラムパターン、8種パラメータ (PID定数、警報、出力リミッタ、タイムシグナルなど) の設定。

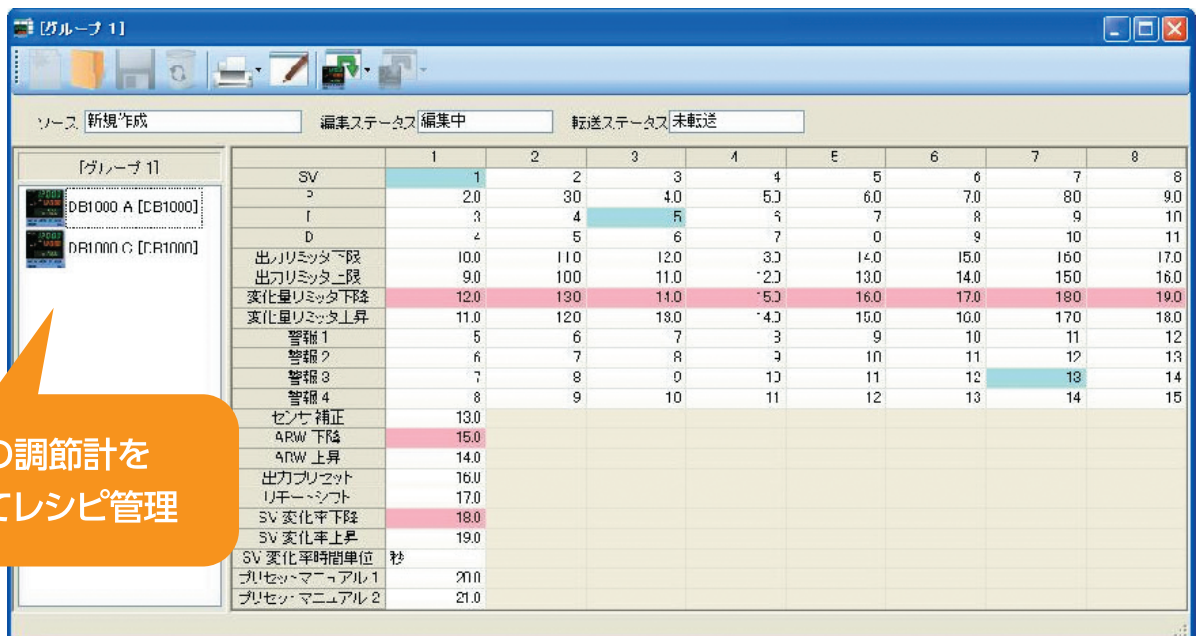
DP-Gシリーズは20パターン×199ステップ (トータル4000ステップ以内)

KP1000は19パターン×19ステップ、KP2000およびKP3000は30パターン×19ステップ



<デジタル指示調節計 (LTAシリーズ、DBシリーズ)>

8種パラメータ (SV、PID定数、警報、出力リミッタ、センサ補正など) の設定。



▶ アラーム通報機能

アラーム発生時には、メイン画面にアイコンを点灯させ通報します。
WAVE形式の音声データを登録することにより、アラームの発生をより
わかりやすく通報することが可能です。



▶ 終了処理機能

災害時等の緊急終了対応として、COMポートに入力された終了信号または、CISAS以外のプログラムが発行したコマンドの終了信号を監視することができます。
無停電電源装置と連携しCISASおよびWindowsのシャットダウン(自動終了)を行うことができます。

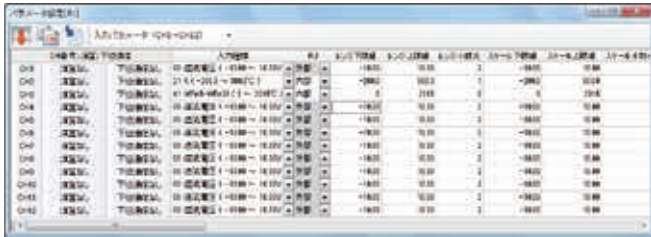
▶ ハードコピー機能

表示されている画面全体またはアクティブウィンドウを印刷します。

▶ エンジニアリング(デバイス管理)

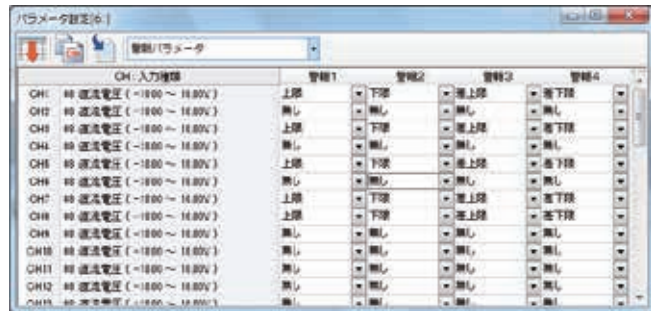
記録計、スキャナ、ロガーの各チャンネルの入力種類、レンジ・スケール、センサ補正、警報1~4の種類を設定します。

入力パラメータ設定画面



警報パラメータ設定画面・・・警報種類を設定

※警報設定値はオペレーションのアラーム設定で別途行います。



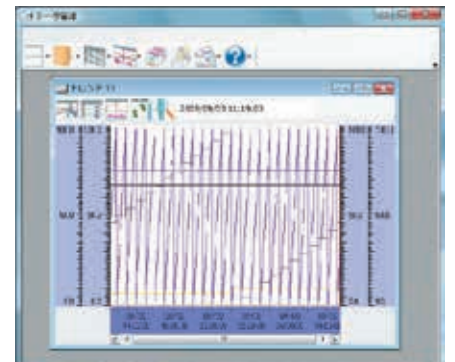
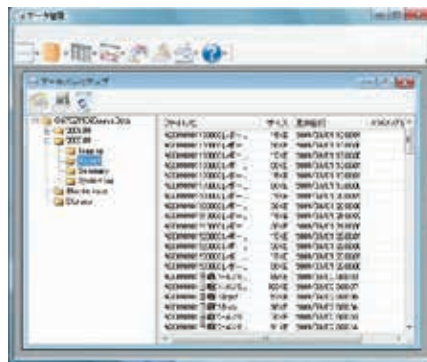
記録計	設定可能パラメータ
KRシリーズ	入力種類、RJ、レンジ・スケール上下限、バーンアウト、センサ補正、フィルタ、タグ、単位、表示種類、表示スケール、警報1~4種類
LE5100/LE5200	入力種類、RJ、レンジ・スケール上下限、バーンアウト、センサ補正、フィルタ、タグ、単位、記録スケール、警報1~4種類
AH4000/AL4000	入力種類、RJ、レンジ・スケール上下限、バーンアウト、センサ補正、タグ、単位、記録スケール、警報1~4種類
KH4000/KL4000	レンジ・スケール上下限、バーンアウト、センサ補正、タグ、単位、記録スケール、警報1~2設定値
スキャナ・ロガー	設定可能パラメータ
KE3000	入力種類、RJ、レンジ・スケール上下限、バーンアウト、センサ補正、フィルタ、警報1~4種類、リレー出力
SE3000	入力種類、RJ、レンジ・スケール上下限、バーンアウト、演算スケール、警報1~4種類

ユーティリティ

▶ データ管理

再生表示、バックアップ、コピーなどの機能を用意。

再生表示は、集録されたデータを読み出して一覧表形式やヒストリカルトレンドとして表示をすることができます。バックアップ機能は集録したデータ、サマリ情報を月単位でバックアップすることができ、コピー機能ではファイル単位で情報をコピーすることができます。



▶ システムログ

システムの起動/停止や機器との通信結果、各種機能の操作結果を保存、閲覧することができます。

▶ メンテナンス

システム構築情報やオペレーション構築情報、各種機能の設定パラメータ情報のバックアップ、インストール、ロールバックを行うことができます。

形式

最大取扱タグ点数	製品形式
500 タグ	PS1124-J5N

ソフトウェア動作環境

パソコン	CPU Pentium4 3GHz 相当以上推奨 ※タグ数が多い場合は高速のCPUをご使用ください。 1GB以上のRAM CD-ROMドライブ (インストール時) ハードディスク空き容量 10GB以上 USB ライセンスキーを接続
ディスプレイ	カラー高解像度 1024×768 ドット以上 マルチディスプレイ対応
プリンタ	Windows 対応のもの
OS	Windows10 Windows 7 Windows Vista Windows Server 2003 ※上記のOSに.NET Framework 4.0以降がインストール可能なこと

比較表

CISAS/V4とCISAS/V4 Liteの機能を比較

デバイス・機器一覧 ○：対応、×：非対応

PLCとの接続やグラフィック画面が必要な場合はCISAS/V4へ容易にシステムアップできます。

機器	CISAS/V4	CISAS/V4 Lite	機器	CISAS/V4	CISAS/V4 Lite	画面	CISAS/V4	CISAS/V4 Lite
スキャナ・ロガー			調節計			タグ点数	最大5000	500
KE3000	○	○	DB600	○	○	トレンド	○	○
SE3000	○	○	DB1000	○	○	サマリ	○	○
記録計			DB2000	○	○	グラフィック	○	×
KR2000/KR2500	○	○	LT23A	○	○	アラーム設定	○	○
KR3000/KR3500	○	○	LT35A/LT37A	○	○	データリスト	○	○
LE5100/LE5200	○	○	LT45A/LT47A	○	○	メモリー機能	○	○
AH4000/AL4000	○	○	DP1000G	○	○	ジョブ設定	○	×
その他			DP3000G	○	○	帳票	○	○
PLC (Q シリーズ)	○	×	KP1000	○	○	アラームリスト	○	○
PLC (FX シリーズ)	○	×	KP2000	○	○	制御パラメータ	○	○
MELSECNET/H	○	×	KP3000	○	○	エンジニアリング	○	○
入出力ボード	○	×	無線機器			機能		
ネットワーク監視表示灯	○	×	MD8000/MD8000LAN	○	○	調節計運転操作	○	×
			熱画像センサ			メール通報	○	×
			TP-H	○	×	ネットワーククライアント	○	×
						セキュリティ機能	○	×
						特殊機能対応	○	×

- *1 1つの通信ライン上にスキャナ、調節計の機種混在は可能ですが、通信モード(RTUモードとASC IIモード)の混在はできません。
- *2 Ethernetポートとシリアルポートを混在して使用することが可能です。
- *3 1つの通信ライン上に接続する機器の台数制限(最大31台)が生じた場合は、複数のシリアルポートを使用します。
シリアルポートはパソコンが使用可能なシリアルポートを最大256ポートまで登録できます。
- *本カタログに記載されている会社名、製品名などは各社の商標または登録商標です。
- *本カタログは、適切に管理された森林で生産されたことを示すFSC®森林認証用紙を使用しています。

安全に関するご注意

- 本製品は、一般工業計器として設計・製造したものです。 ●本製品の設置・接続・使用に際し、取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。
- 記載内容は性能改善などにより、お断りなく変更することがございますのでご了承ください。 ●このカタログの記載内容は2019年4月現在のものです。



株式会社チノ

本社 〒173-8632 東京都板橋区熊野町32-8
☎03(3956)2111(大代) FAX03(3956)8927

URL: <http://www.chino.co.jp/>

東日本支店 〒173-8632 東京都板橋区熊野町32-8
☎03(3956)2205(代) FAX03(3956)2477
東京 ☎03(3956)2401 大宮 ☎048(643)4641
札幌 ☎011(757)9141 千葉 ☎043(224)8371
仙台 ☎022(227)0581 横浜 ☎045(440)3171
新潟 ☎025(243)2191 立川 ☎042(521)3081
高崎 ☎0274(42)6611 厚木 ☎046(295)9100
水戸 ☎029(224)9151

大阪支店 〒564-0063 大阪府吹田市江坂町1-23-101
(大生命江坂ビル)
☎06(6385)7031(代) FAX06(6386)7202

大阪 ☎06(6385)7031 広島 ☎082(261)4231
津 ☎077(526)2781 福岡 ☎092(481)1951
大姫路 ☎079(288)7580 北九州 ☎093(531)2081
岡山 ☎086(473)7400

名古屋支店 〒450-0001 愛知県名古屋市中村区那古野1-47-1
(名古屋国際センタービル)
☎052(581)7595(代) FAX052(561)2683
名古屋 ☎052(581)7595 富山 ☎076(441)2096
静岡 ☎054(255)6136

(販売店)